

社内情報の一元化を実現 TCOの削減と

増え続ける部門システムを
統合することで、

宝ネットワークシステム株式会社

宝酒造株式会社様の情報システム部門として、平成11年4月に独立。
「21世紀のネットワーク時代に勝ち残るトータルソリューションの提供」をモットーに情報システムの開発・運用・保守をはじめ、「ネットワーク」「サプライチェーン」「デジタルメディア」の企画・提案を通じて企業の情報化に貢献し、21世紀に飛躍するソリューション・プロバイダーを目指す宝ネットワークシステム株式会社様。地域の情報化についても力を入れ、京都ファンのためのポータルサイト「DigiStyle京都」の運用も行っています。
宝ネットワークシステム株式会社様では、以前からDWHの構築を通して、業務改善を推進してきました。今回、さらにDWHの適応領域を広げ、戦略性の高いビジネス展開を実現しています。

統合の背景

以前は部門システムの構築が盛んに行われておりまして、その部門システムが立ち上がる度、ホストコンピュータより部門システムのサーバに対して、データの供給を行っておりました。その部門システムの数が増えていくにつれて、ホストコンピュータの負担が増え、その対応についても、いろいろと問題が生じておりました。



アプリケーション事業部
アプリケーション第2グループ
白坂 昌司 様

そういった問題を解決するために、1997年からデータの効率的な活用を目指し、DWHの構築をいたしました。この中でデータの有効活用を実現するための基盤構築を行いました。

今回はさらなるTCOの削減と社内さまざまな情報の一元化、また、エンドユーザの情報

をタイムリーに利用できる環境を提供するために、ステップアップを目指しまして、サーバ統合を行いました。

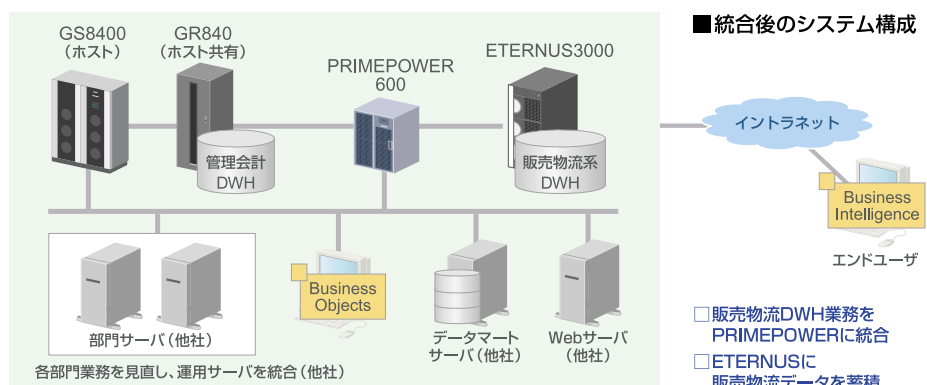
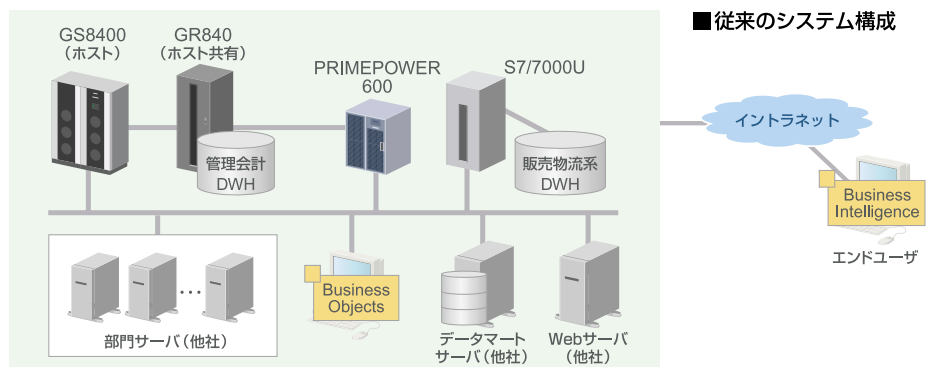
システム概要

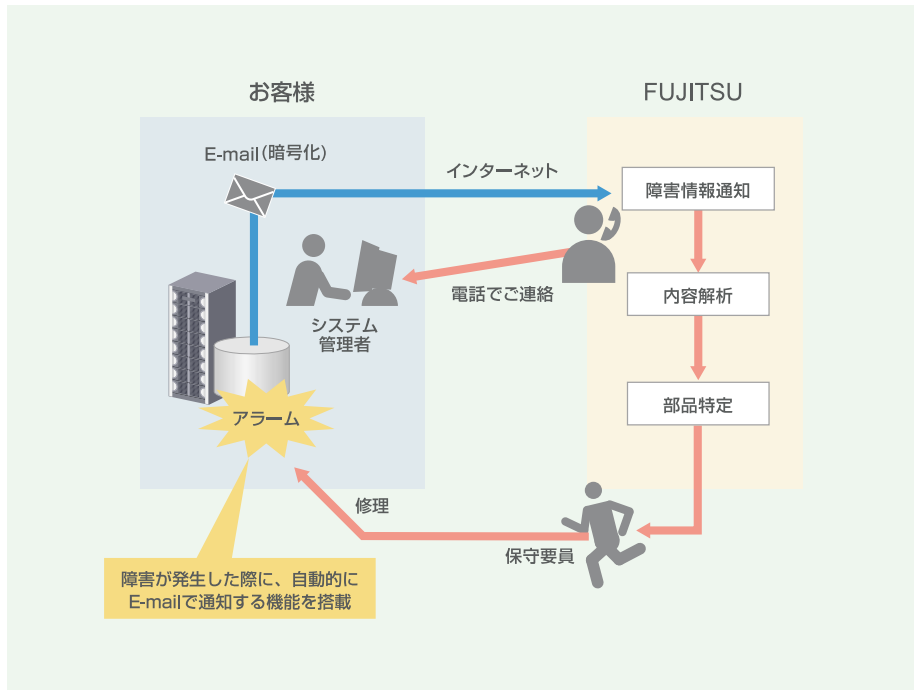
2台のサーバで運用していた販売物流と管理会計のそれぞれのDWHシステムをUNIXサーバPRIMEPOWER1台に統合するとともに、大量のデータを格納するためにETERNUS3000を新たに導入。

グローバルサーバGS8400で処理されたデータは、ETERNUS GR840を經由して、PRIMEPOWERに接続されたETERNUS3000に蓄積されます。そしてPRIMEPOWERでデータベース検索を行い、定型のデータマートを作成。利用者がアクセスするサーバにマートDBとして格納します。

利用者はいつでも必要なデータをすばやく検索することができます。

製品：ETERNUS3000





統合の効果



アプリケーション事業部
アプリケーション第2グループ
リーダー
山下 久貴 様

今回の統合は、100GBを超える複数存在する大規模システムのシステム統合を同時に行う必要がありました。

その中で、どうしても心配だったのが、旧来の機種種の処理能力と現在のPRIMEPOWERの処理能力の差でしたが、おかげさまで統合した結果でも13時間今までかかっていた旧来の処理が、8時間を切る程度まで落としました。

ディスクアレイのスピードにしましても、旧来の機種より今回のETERNUS3000の方がはるかに高速でありまして、接続もFibre Channelということでしたので、問題なく動いております。

現在、導入から半年たっておりますけれども、ETERNUS自身の信頼性は確保されております。

リモート通報について

運用時の万一のトラブルに備えてSupport Deskをご契約いただき、リモート通報機能などネットワークを利用したサポートインフラによって、トラブルの迅速な解決が可能となっています。

SupportDeskへの期待

サーバの運用ということを考えたときに、アプリケーションの保守というのはSEですべて対応できますが、ハード障害に関しましてはすべて対応できるわけではないため、事前に知ることがすごく重要になってくるんですよ。

その中で今のサーバ/ハード構成というのは、旧来のものと比べて何が大きく変わっているかという、たとえばハードディスクを1つとってみても、関連するソースが多少増えています。例えば、SCSIに対しましてFibre Channelが増えているとか、ディスクアレイ自身にはかなりのキャッシュ

を積んでいるとか、事前に見るところというのが多々あるわけです。

現在は、おかげさまで問題もなく動いておりますけれど、その辺のあたりのワーニングですね。たとえば、キャッシュの障害とかを事前にかかずに早く知って事前に対処するかというのが、非常に大きなキーワードになってきていまして、それが、今回実現しているというのが、すごく大きな安心になっています。

また、できることならば、他のメーカーのシステムであっても同じように監視できるような仕組みがあればと考えます。

会社概要

宝ネットワークシステム株式会社

所在地：京都市下京区四条通烏丸東入長刀
鉾町20番地

事業内容：情報システムの開発、運用、保守他

URL <http://www.takara-ns.co.jp/>

FUJITSU THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

富士通株式会社 プラットフォームソリューションセンター プロダクトマーケティング統括部 エンタープライズサーバ部
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2汐留シティセンター TEL (03) 6252-2654 (直通) FAX (03) 6252-2951

記載の会社名、製品名、名称などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。その他、記載されている名称には必ずしも商標表示をしておりません。この事例の内容は、2004年1月現在のものです。記載されている製品名については、改良のために予告なしに仕様、デザイン等を変更する場合がありますのでご了承ください。

ご質問受付Eメールアドレスは
storage-system@fujitsu.com
ストレージシステムに関する情報は
<http://storage-system.fujitsu.com/jp/>